

とうにうん

第20号 2013年3月7日

J R 東海 労 東 二 運 分 会

発行者 庭 山 義 輝

編 集 教 宣 部

今年も送られてきた 全社員が東京でも

特別優待券 使える商品券を 支給すること！

組合員のみなさん

春闘の大詰めが近づいています。私たち東海労は、社員の切実な声として「基本給ベース2000円アップ・定昇一律1500円×4」「夏のボーナス3.5ヶ月分」「社員と家族の努力に報いるために5万円分の『商品券』」を求めています。

東海労本部は、東海労組合員だけではなく全社員と家族の切実な要求を満額で獲得するために団体交渉を行っています。しかし会社の回答は、他の企業と比較して賃金水準は高い、とした傲慢で誠意のないものとなっています。

私たちが待遇の改善を求めるのは、景気が良いから出せとか、景気が悪いからガマンする、というものではありません。例えば会社はリニア建設の為の効率化や経費削減を繰り返しています。そしてその施策を強引に進めるために年休も流され、休日出勤も強制されています。さらに、より強引に進めるために人事と賃金を一体化する制度へと改悪して、給料が簡単にはアップしない制度としたのです。

この強引は、景気とは全く関係ありません。だから私たち東海労は、社員の仕事量の増加とサービス労働や自己啓発をさせられるという職場の現実を改善するように求め、社員を支える家族にも目を向けるようにも言っています。

しかし、一向に改善されないのです。だから私たち東海労が春闘で求めているのは、職場の現実に見合う給料を 実現しようということです。

組合員のみなさん 国労・ユニオン組合員のみなさん

過日、家庭に「おれんじ」とともに平成25年3月吉日 付け、株式会社ジェイアール東海高島屋 発行の「JR東海社員・ご家族様特別ご優待券につきまして」が送られてきました。同じものが1年前にも送られてきました。3回目でしょうか？

その時、私たち東二運分会は掲示で「ジェイアール名古屋タカシマヤはJR東海や高島屋その他の会社が株主であり、JR東海と高島屋の合弁会社なので、他の高島屋とは別会社です」「全社員と家族が手軽に使えるように」と書きました。繰り返された「特別優待券」は、社員や家族の気持ちは全く関係ないということです。

私たち東海労は、春闘の要求として全国どこでも使える5万円分の「商品券」の支給を求めています。皆で、共に大きく声を出しましょう。